

ネパール経済ニュース（18年5月）ヘッドライン

経 済	
産業 エネルギー インフラ	<p>(1) 11日、ネパール訪問中のモディ・インド首相とオリ首相は、アルンⅢ水力発電所（900MW）の定礎式を執り行った。両首相は、同発電所の運用が、両国間の電力取引及び発電の協力を強化するだろうと述べた。</p> <p>(2) 11日、ネパール政府関係者は、中国の支援によって行われているコテソール・カランキ間のリングロード拡張工事が、本年の梅雨明けに完了する見込みである旨述べた。同拡張工事は2013年に開始され、当初の工期は2017年だった。</p> <p>(3) 18日、中国（Hongshi Group）とネパール（Shivam Holdings）の合弁企業であるHongshi Shivam Cement社は、試験的なセメントの製造を開始した。ナワルパラシ郡にある同社の工場は、一日あたり6,000トンの製造が可能である。</p> <p>(4) 21日、ネパール軍によって行われたマイルン・シャフルベシ間の道路開削工事が完了した。同工事の完成記念式には、カティワダ財務大臣、ポカレル国防大臣、アディカリ文化・観光・民間航空大臣等が出席した。</p> <p>(5) 23日、中国人のエンジニアがケルン（中国）・カトマンズ間の鉄道建設の実現可能性にかかる予備的調査を行った。ネパール鉄道局関係者がこれに同行した。</p>
金融 財政 税制	<p>(1) 29日、カティワダ財務大臣は、連邦下院議会において、2018/19年度の政府予算案を提出した。同財務大臣は、ネパール政府の目的は教育、スキル、健康、雇用機会を国民にもたらすものであり、来年度の政府予算案はこれらに重点を置いている旨述べた。</p> <p>(2) 30日、最大野党のネパール・ कांग्रेस（NC）のカンド元防衛大臣は、カティワダ財務大臣が連邦議会で提出した来年度予算案に対し、国民への課税が強化されたことによって、国内外からの投資が抑制され、ネパールが経済発展及び繁栄の方向に進まないと批判した。</p>
観光 投資	<p>(1) 16日、ネパール観光庁は、2018年1月～4月までの外国人入国者数が387,568人（前年同期比13.46%増）であったことを発表した。このうち中国人が最も多く、53,528人であった。</p>
雇用 労働	<p>(1) 1日、海外労働局のレポートによると、中東及びマレーシアで海外出稼ぎしているネパール人の大半が未熟練労働者である。</p> <p>(2) 4日、ネパール政府関係者は、公共交通機関の業者は年に一回の自動車税を払っているが、従業員の所得税はこれまで全く払っておらず、このような状況はネパールだけである旨述べた。</p>